

安藤耕斎

〈伊那谷南画界の草分け〉

本名茂一。文久二年（一八六二）十二月八日下川路村 現飯田市川路）天龍峽に父安藤彌十郎、母かく（屋号社古地）の長男として生まれる。漢籍詩文を関島松泉に学び、書を前田龍川に学ぶ。画は南画の巨匠富岡鉄斎の弟子として師事。初めは烟潭、後に耕斎と号す。



明治三十年〜同四十二年まで下川路村長、同村郵便局長を歴任。明治四十一年の局長在職時、日本新聞主催全国避暑地選抜で天龍峽の宣伝に努め、三等入選に多大な貢献をした。

明治四十五年京都に赴き、画道に専心精進。昭和四年京都から帰郷し、以後社古地画室老學庵で制作に勤しむ。東京白木屋で展覧会を三回開くなど、中央でも活躍。昭和九年の天龍峽名勝指定にも貢献し、皇族閑院宮家に「信濃天龍峽図」を献上した。

昭和十四年（一九三九）二月三日脳溢血にて長逝。享年七十八（満七十六）。法名 老龍園耕斎玄達居士。老學庵裏の墓地に眠る。



安藤耕齋展 出品目録

軸	松泉老樵「芙蓉峒記」之図	明治二十一年
軸	南極老人図	明治四十三年
軸	竹林の七賢山水図	明治四十三年
軸	松下談合	明治四十四年
軸	流水去人閒	大正元年
軸	龍虎（書）	大正七年
軸	溪山積雪図	大正七年
軸	梅花書屋図	大正十年
軸	四法有山	大正十四年
軸	百事如意大吉	昭和三年
軸	天龍峽図	昭和四年
軸	江山積雪図	昭和五年
軸	百事如意	昭和五年
軸	古樹瑞雲兆豊年	昭和六年
軸	金婚之図	昭和七年
軸	梅花の図	昭和八年
軸	天龍峽図	昭和九年
軸	干支（午）	昭和九年
軸	蓬菜不老仙図	昭和九年
軸	如松之茂	昭和十一年
軸	金碧山水蘭亭図（蘭亭曲水之図）	年不詳
軸	落款印譜	年不詳
軸	雨奇晴好	年不詳
軸	吉祥図	年不詳
軸	白梅図	年不詳
屏風	山水之図	年不詳
扁額	五岳眞形図	大正十一年
扁額	雲抱長流春山	昭和十年
額	竹図（一年三秀）	年不詳
画帳	読画高詩	昭和五年
画帳	以書作画帳	年不詳
焼物	耕齋絵付け杯	大正十一年

平成二十六年十一月一日～二日 安藤耕齋展実行委員会